

カトリック 三田小教区報

2025年 11月号 (No. 277)
三田市屋敷町8-15 TEL 079-562-4404 FAX 079-562-9404
発行責任 神田 裕神父 編集: 宣教委員会広報部

エデンの園のりんご

エデンの園に生えていた“善悪の知識の木の実”を食べて楽園から追い出されてしまったアダム(土)とエバ(命)の物語。その禁断の果実はすっかりリンゴだと思っていたのだが、聖書には果実と書かれているだけだ。物語の時代的にも地域的にもそこにはリンゴはない。どの果実であったのかはどうでもいいのだが、あるとすればイチジクかザクロかブドウなのか。

なぜリンゴと思っていたのかと気になって調べてみた。なんと中世の頃のヨーロッパでのラテン語の言葉遊びが原因だった。リンゴは“malum” 悪も “malum”なのだ。当時の画家たちがその言葉遊びをイメージして物語の絵を描いたのでこの木の実にはリンゴとされてきた。なぜリンゴと悪が同じ言葉なのか腑には落ちないのだが、赤い実が誘惑的なものかもしれない。万有引力を気づかせてくれたのはリンゴだった。そういう意味ではリンゴは何かと秘密を知るに魅力的な果実かもしれない。

リンゴを食べるには口を大きく開けて丸かじりが何となく理想的だが意外と難しい。お皿の上にリンゴを置いて等分してから皮を剥いて食べる。丸のままのリンゴの上からナイフの刃を当てて一気に皮をらせん状に剥いてから等分に切って食べる。

そんなリンゴの皮の剥き方が危ないと注意された外国人女性がいた。リンゴを左手に持ち、右手でナイフの刃を外側に向けて握り、右手の人差し指でガイドしながららせん状に剥くのだ。そばにいる人にとっては刃がこちらに向いているので危ないと思ったのだろう。そんなリンゴの剥き方があること自体知らなかった。私は、幼い頃から教わったままに、ナイフの刃を内側に向けて親指でガイドし皮の厚みを見ながらリンゴを剥く。彼女は、刃を自分に向けている方が危ないと言っていた。言われてみればそうも言える。

りんごの剥き方、食べ方だけでも文化によって色々ある。ナイフとフォークで一口ずつ食べるところもある。お上品な食べ方だなと思う。ピーラーで剥くところもある。スピード重視だと聞くとなるほどなあとと思う。それは優劣や良し悪しではない。そこにあるのは違いがあるだけで、リンゴ一つとってみても想像を超えて色々あって豊かだ。

リンゴは色々気づきを与えてくれる。エデンの東から、その引力によって再び“命の木”に近づけてくれる “多文化な知恵の木の実”なのだ。(´_`)

三田教会 神田裕



11 月 教 会 行 事			※ミサ前、各自で静かに祈って下さい。 ※週日(水・金)のミサ:9時30分(司祭不在時はありません)
1	ド	諸聖人の祭日	
2	日	死者の日	ミサ:午前9時30分 清掃当番:東・北(トイレ)／西(聖堂廻り)／中(敷地外周)／南(聖堂)
3	月	〔文化の日〕	三田墓地墓参会 午後2時～ (於:カトリック三田墓地)
4	火		
5	水		
6	木		
7	金		
8	土		
9	日	ラテラン教会(教皇座聖堂)の献堂	ミサ:午前9時30分 清掃当番:東・北(聖堂廻り)／西(敷地外周)／中(聖堂)／南(トイレ) 定例評議会 ポルトガル語ミサ:午後3時～
10	月		
11	火		
12	水		
13	木		
14	金		
15	土		
16	日	年間第33主日 貧しい人のための世界祈願日 聖書週間(16日～23日)	「七五三お祝い」ミサ:午前9時30分 清掃当番:東・北(敷地外周)／西(聖堂)／中(トイレ)／南(聖堂廻り) 屋外ツリー飾りつけ(点灯は11月30日から)
17	月		
18	火		
19	水		
20	木		
21	金		
22	土		
23	日	王であるキリストの祭日 世界青年の日 〔勤労感謝の日〕	ミサ:午前9時30分 教会大掃除(清掃担当):東・北・中(聖堂)／西(外トイレ)／南(敷地外周) 聖堂内ツリー・馬小屋・リース飾りつけ等
24	月		
25	火		
26	水		
27	木		
28	金		
29	土		小教区報印刷
30	日	待降節第1主日	ミサ:午前9時30分 待降節黙想会／指導司祭:春名昌哉神父 ゆるしの秘跡 祈りの花束奉納開始 清掃当番:東・北(トイレ)／西(集会室・前庭)／中(敷地外周)／南(聖堂)

※ 12月のミサの朗読・共同祈願担当地区は → 西地区です。

※司祭館・信徒館建設などで、行事等が中止になる場合があります。